やっほー

やまびこネットワーク情報誌　VOL. ８３
発行日　平成28年（2016年）１月28日
編　集　地域づくりネットワーク長野県協議会
事務局（長野県企画振興部地域振興課地域企画係内）
電　話　026-235-7023（内線3784）
ＦＡＸ　026-235-7397
E-Mail　chiiki@pref.nagano.lg.jp
ＵＲＬ　http://zuku.umic.jp/hp/ynet/

電子版「やっほ～」をよろしくお願いします。

＊カラーで読みやすく、ご紹介しているホームページへのアクセスも簡単です。
＊最新号からバックナンバーまで見られます。
～やまびこネットワークホームページで公開しています。～

“地域づくり出会いのひろば”を開催します！

「地域づくり出会いのひろば」の参加者・出店者を募集しています！！
地域で何かをしたい、自分のスキルや特技を生かしたい、人材がほしい、
ボランティア・地域活動・ＮＰＯの活動に関心がある等どなたでも参加できます。

◆日時：平成28年2月12日（金）
13：30～16：00
◆場所：伊那市生涯学習センター
（いなっせ）6階ホール

◆内容：
○1部 「出会いのひろば」
（駄菓子屋風店だし情報交換）
地域づくり人材等を求める側が出店し、何かを始めたい、ボランティア、地域活動に関心のある方、情報がほしい方が「出店」を自由に回って「つながり」をつくる

○2部　社会参加で地域づくりを考えよう
出会いのひろばで成立した「つながり」や感想をもとに全員で地域づくりに関する意見交換を行う

参加・出店者申込み
2月4日(木)締切

☆☆☆　支部からの活動報告です！＜PART1＞　☆☆☆

佐久支部

「先進的な地域づくり事例をフィールドで学ぶ」研修会を開催
～ 北八ヶ岳での苔の観察会 ～

皆さんは「苔」と聞いてどんなイメージをお持ちでしょうか？ 私は恥ずかしながら「石に張り付いてる緑のでしょ。」という貧弱なイメージしか持っておらず、最初に「苔で地域おこし」という話を聞いた時には驚きでした。

佐久支部では、苔の魅力を地域資源として積極的にＰＲしている「北八ヶ岳苔の会」（以下「苔の会」）の取組をフィールドで学ぼうと、平成27年６月12日（金）に研修会を開催しました。

当日は、支部のメンバー１５人が参加し、佐久穂町と小海町の境にある白駒の池の周辺で苔の会の方々にガイドをお願いしました。

国道から山に一歩踏み入れると、普段全く気づかずに通り過ぎ、踏んでいた（かもしれない）苔がここにも！あそこにも！ガイドでは、マップとともに苔の種類を写真で解説したリーフレットも見ながら、種類や特徴を丁寧に説明いただけますので、初心者でもとても分かりやすく理解できました。

この北八ヶ岳周辺には、500種類近くの苔が群生していて、日本蘚苔類学会から「日本の貴重なコケの森」に認定されているそうです。

苔の会では、定期的に観察会を開催しており、清涼な空気の中での癒しを求める首都圏からの参加者や「森の宝石」と言われる美しさにハマる女性も多いそうです。皆さんも一度行ってみてはいかがでしょう。

北八ヶ岳苔の会ホームページ　http://www.kitayatsu.net/

諏訪支部

「地方創生」研修会を開催　～ 日本版ＤＭＯの実践について ～

基調講演

グループワーク

諏訪支部では、昨年より「地方創生」をテーマにした研修会を開催しています。平成２７年１２月３日（木）に「地方創生～日本版ＤＭＯの実践について～」と題し、広域観光の視点から地域づくりを考える研修会を実施しました。

前半の基調講演では、観光を切り口にした地域振興の在り方を、ワンストップ窓口の設立等講師が実践したことを通して学びました。後半はグループワークを行い、地域住民目線での「オリジナル観光プラン」を作成しました。

支部会員を含め諏訪地域の地域づくり団体など６３名の方に参加いただき、地域振興について考える機会となり、また立場を超えた様々な意見交換ができました。

講 師 紹 介

高砂　樹史氏（たかさご　たつし）
平成17年に長崎県小値賀島（おじかじま）へ移住。
平成22年に着地型旅行会社「㈱小値賀観光まちづくり公社」を立ち上げ、観光によるまちづくりを実践している。

上伊那支部

「い～な上伊那地域づくりフォーラム」を開催

上伊那地域で地域づくり活動に取り組まれている団体の皆さんや自治体関係者が集い、地域づくり活動への理解を深めるとともに団体相互の交流を推進する「い～な 上伊那 地域づくりフォーラム」を、平成27年11月14日（土）に開催しました。

フォーラムでは平成26年度「地域発 元気づくり支援金」事業の優良事例表彰及び事例発表と、かみいな魅力発信シンポジウムとしてパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは『地域の特色を活かした移住・定住促進』をテーマに、伊那市集落支援員の水口航さん、信州フューチャーセンターおてんとさんの伊藤優さん、信州大学地域戦略センターの麻田玲さんをお招きし、地域づくりネットワーク長野県協議会長兼上伊那支部長の小林正明さんのコーディネートにより、上伊那地域の移住・定住促進について意見交換しました。

○長野県知事表彰・地域発 元気づくり大賞
　中川人形保存会
　　『人形芝居「切竹紋次人形」再興事業』
○上伊那地方事務所長表彰
　駒ヶ根市の鉄道100年地域活性化事業実行委員会
　　『駒ヶ根市の鉄道100年記念事業』
　駒ヶ根商工会議所青年部
　　『こまち（駒街）バル』

フォーラムの様子

優良事例受賞者の皆様

パネルディスカッション

松本支部

「地域づくりネットワーク講座」を開催
～ 協働・地域（まち）づくりに欠かせない「話し合いのコツ」を学ぶ ～

平成27年11月5日（木）に「元気づくり支援金　活用事例発表会及び表彰式」（松本地方事務所主催）に引き続いて「地域づくりネットワーク講座」を開催し、支部の会員をはじめ松本地域で活動されている地域づくり団体の皆さんや市町村の担当者の参加をいただきました。

講師に日本ファシリテーション協会所属の尾上昌毅（おのうえまさき）さんをお招きし、様々な地域活動・地域（まち）づくり活動を進めるときに欠かせない効果的な話し合いの手法（ホワイトボードの活用、多様なグループワーク等）を学び、まちファシの技術を習得しました。

まちファシとは「まちづくりファシリテーター（facilitator）」の略語で、文字通り地域づくりを“促進”する人を意味しています。

「目的が異なる様々な団体やそれぞれに違う立場の人が集まり、上手に協働を進めながら地域（まち）づくりを進める。そのためには「まちファシ」の存在は欠かせない！！」

参加された皆さんからは、早速、今後の活動に「話し合いのコツ」を使いたいなどの評価をいただき、大変有意義な講座となりました。

今後、一人でも多くの「まちファシ」が誕生する事を期待したいと思います。

長野支部

「地域発　元気づくり支援金活用事例発表会」を開催

平成27年10月27日（火）長野合同庁舎５階会議室において、長野地方事務所と当支部の共催により、平成27年度地域発元気づくり支援金活用事例発表会を開催し、各地域で活躍されている地域づくり団体を含め約６０名の参加があり、盛大に開催されました。

１　優良事例表彰及び優良事例発表

平成26年度地域発元気づくり支援金事業を活用した団体の中から、事業効果に広がりがみられるなど評価の高い事業を実施した団体を選定し、知事表彰1団体、長野地方事務所長表彰2団体を表彰しました。併せて、表彰された３団体より事例発表をいただきました。

【知事表彰】

・えんがわ（千曲市）

「『障害のある車椅子の子どもを持つ親のためのガイドブック』発行事業」

【長野地方事務所長表彰】

・長野県商業教育研究会（長野市）

「全国高校生合同販売からはじまる長野モデル若者づくり事業」（デパートサミット事業）

・特定非営利活動法人 ヒューマンネットながの（長野市）

「長野市障害福祉サービス活用ガイドアプリ制作事業」

【知事表彰】えんがわ

２　講演会

佐藤柊平氏（株式会社ココロマチ社員　東北ふるさとパートナーズ代表）による「”共創”から始まる地域づくり-ふるさとの持続可能な展開を作る手法-」と題して、講演会を開催しました。”共創”する新しい展開づくりが地域を活性化する内容に、参加された方々は熱心に耳を傾けており、今後の地域づくり活動に意欲を高めることができました。

北信支部

「地域発　元気づくり支援金　事例発表会」を開催

平成２７年１１月１４日（土）に開催した「地域発　元気づくり支援金優良事例表彰式及び事例発表会」の様子をご紹介します。

毎年、支部と北信地方事務所の共催事業として優良事例の表彰式を行っているところですが、今年度は知事表彰として、中野市を拠点として活動している「おはなし♡びっくりばこ（おとこぐみ）」の「お父さんの読み聞かせ講演会と実践発表」を表彰しました。

また、北信地方事務所長表彰として、中野青年会議所による「ばらを題材とした特産物を使った地域活性化イベント」、飯水岳北地区教育長会による「日本の伝統芸能に学ぶ会」及び信越秋山郷会による「秘境秋山郷素朴な観光おもてなし事業」の３事業を表彰し、各団体による事例発表を行いました。

ここでは「おはなし♡びっくりばこ（おとこぐみ）」による発表についてご紹介します。

絵本の読み聞かせや紙芝居を行っている団体は県内でも数多く存在しますが、「お父さんによる読み聞かせ」団体は珍しく、県内でも２～３団体程度と言われております。

大人になると見る機会が少ない紙芝居を見て、参加者の中からは「男性の声による演じ分けが新鮮でよかった」「迫力が感じられた」など好評の様子でした。

高野支部長からは「いずれの団体も、子どもへ夢を与える素晴らしい活動」との言葉があり、今後の更なる活躍が楽しみな事例発表となりました。

元気づくり支援金活用団体の活動を各地域の地域づくり団体へ広げ、ネットワークづくりに関心を持ってくださる団体が増えることを期待しています。